

『放課後デイサービス等自己点検及び評価シート』

作 成 日： 令和 4 年 1 月 17 日（月）

事 業 所 名：多機能型事業所 糸ぐるま本庄教室

		現在の取組内容・今後の改善目標（内容）
1 環境・ 体制整備	①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保	きちんと確保されています。訓練室・相談室と分けられ十分なスペースがあります。
	②職員の専門性・配置数	児童発達支援管理責任者 1 名 児童指導員 6 名（うち常勤 2 名）保育士 1 名
	③事業所の設備等についてバリアフリー化配慮がなされているか	バリアフリー化されています。 段差がなく、スペースの広い多目的トイレがあります。 入口にはスロープがあります。
2 業務改善	①業務改善を進めるためのPDCA サイクルに広く職員が参加しているか	朝の打ち合わせ等で情報共有しながら業務改善に努めています。
	②保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	アンケートを実施し、業務改善につなげています。
	③この自己評価の結果を事業所の開放や HP 等で公開しているか	事業所での掲示、保護者への配布、HP での公開を実施しています。
	④第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	令和 4 年 2 月より設置し、第三者による外部評価を行っていく予定です。
	⑤職員の資質向上を行うために研修の機会を確保しているか	月 1 回以上グループ全体研修、週 1 回以上事業所内研修 その他行政等の研修に参加しています。
3 適切な支援の提供	① アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービス計画（個別支援計画）を作成しているか	子どもとの関わり、保護者への聞き取り、職員からの聞き取りから、子どもの実態を把握し、課題を分析し、個別支援計画を作成しています。
	② 子どもの適応行動の状況を把握するために標準化されたアセスメン	使用しています。標準化された特性シートを使用し、アセスメントを行っています。

	トツールを使用しているか	
	③活動プログラムの立案をチームで行っているか	月ごと・日ごとに職員で打合せを行いながら活動を決めています。
	④活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	月ごとにテーマを決めプログラムの決定を行っています。また活動決定の際に経験したことのないものを中心に決定しています。
	⑤平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	休日、長期休みは外出・制作・調理等、平日に行わない活動を行っていますが、さらに一工夫する必要があります。
	⑥子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成しているか	個別・集団とそれぞれの目標を立てています。利用者の状況により、活動を組み合わせています。
	⑦支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎朝、打合せを行い、支援の内容や役割分担について確認しています。
	⑧支援終了後あるいは事前に職員間で必ず打合せし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	支援前の打合せで必ず行っています。支援後は送迎等があるため、業務時間内に打合せ時間を作ることはできませんが、翌日の打ち合わせで、支援の振り返りや気づいた点を職員間で情報共有しています。
	⑨日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	支援終了後、指導記録を記入しています。打合せで意見交換も行っています。
	⑩定期的にモニタリングを行い、放課後デイサービス計画（個別支援計画）の見直しの必要性を判断しているか	6 か月に 1 回以上のモニタリングを実施しています。
	⑪ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	自立支援・日常生活の充実を中心に複数組み合わせて活動を行っています。

4 関 係 機 関 と の 連 携	①障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい物が参画しているか	職員間で情報共有後に参画しています。
	②学校との情報共有（年間計画・行事予定表等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を行っているか	子どもの情報共有・送迎時の申し送りの徹底を行っています。
	③医療ケアが必要な子供の受け入れる場合は、子どもの主治医等の連絡体制を整えているか	医療ケアが必要な子どもは現在利用していません。受け入れる場合には、主治医との連絡体制を整えます。
	④就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	情報共有し、必要がある場合、連絡体制を整えています。
	⑤学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ場での支援内容等の情報を提供する等しているか	対象児童がいる場合、速やかに行います。
	⑥児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連帯し、助言や研修を受けているか	連帯強化や研修参加に努めます。
	⑦放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	コロナウィルスの影響により現在計画はありません。状況が改善されたのちに計画について検討していきます。
	⑧（地域自立支援）協議会等に積極的に参加しているか	参加に努めていきます。

	⑨日ごろから子供の状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡ノート・送迎時の申し伝え等を行っています。
	⑩保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等を行っているか	現在行っておりません。
5 保護者への説明責任等	①運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	利用契約時に説明しています。
	②保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	必要に応じて、行っています。
	③父母の会の活動を支援したり、保護者回答の開催する等により、保護者同士の連帯を支援しているか	現在はコロナウィルス感染予防の為、行っておりません。
	④子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情があった際には保護者との信頼関係を築く為に迅速な対応に努め、苦情ノートを作成して職員間で共有し改善に繋げています。
	⑤定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	ブログの定期的な更新を行っています。
	⑥個人情報に十分注意しているか	十分に注意しています。
	⑦障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	連絡帳の活用・PECS の導入をしています。

	⑧事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	イベントには友人知人の招待を行っています。(現在はコロナウィルスの影響により行っていません)
6 非常時の対応	①緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	事業所に掲示しています。
	②非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年に3回避難訓練を実施しています。(火災・地震・水害)
	③虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3ヵ月に1回、研修等を行っています。
	④どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)に記載している	身体拘束が必要な場合には、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分説明し、了解を得た上で個別支援計画に記載します。
	⑤食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	指示書に基づく対応を行います。
	⑥ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	事例集を作成し、共有しています。